

きずな

NO. 161 2015- 1

こんにちは **日本共産党** 中村れい子 市政報告です



発行：日本共産党高槻市議会議員団 市議会議員・中村れい子 事務所／☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅／古首部町2丁目15-8-606 ☎685-6686

12月市議会まで 敬老パスの経済効果の調査を要求

12月議会中で中村れい子市議が市バス敬老パスの効果、学童保育、認定こども園について一般質問しましたので、その要旨を掲載します。

高槻市は70歳以上の
人に、市営バス全路線
に無料で乗れる乗車証
を発行しています。敬
老パスです。
1972年に敬老パ
ス制度が導入されて42
年、利用者から大変高
い評価を受け喜ばれて
きました。昨年は、上
牧駅を経由して淀の

原、東上牧への路線
が、延伸され地域の高
齢者から「やつと敬老
パスが利用できる」「顔
見知りでない方たちと
も、バスの中で会話が
弾む」と、大変喜ばれ
ており、単に便利に
なったというだけでな
い効果も生まれていま
す。

歩くことで医療費の抑制効果が

歩くことで、医療
費が軽減されるとい
うデータがありま
す。厚生労働省の研究
では、1万歩で14円の
医療費抑制効果が、筑
波大学は1千歩で16円
の医療費が軽減される
というデータがありま
す。敬老パスがあるこ



とで外出の機会が増
え、歩く機会を増やし、
医療費の抑制につなが
ります。

高槻市の介護保険
の、認定率は15・9%、
大阪府平均は、20・6%
で4・7%低く、大阪
府と同じ介護の認定率
なら、昨年の市の負担
は25億円で認定者1人
17万円になり、今よ
り3億5千5百万円の

介護費用の抑制効果
負担増になります。加
えて、家族が介護する
負担も軽減されます。



健康寿命が大阪府より、 全国より長いこと

健康寿命は、高槻市
では、女性が79・9歳、
男性は77・4歳、大阪
府は女性が72・5歳、
男性で69・4歳。全国
は女性が73・6歳、男
性が70・4歳、高槻市
と府と比べると女性
で、7・4歳、男性は
8歳長くなっていま

す。
健康寿命の算出方法
に違いはありますが、
市の健康寿命は、ずい
ぶん長いのです。すべて
が、敬老パスのおかげ
だとは、言いませんが、
何らかの影響があると
思います。

名古屋市では、敬老
パス制度の調査を実施
されました。
市民へのアンケート
調査とともに、いろん
な角度から検証されま
した。健康への影響で
は外出による健康増
進、歩く量が増えたこ
と。経済への影響では
買い物に行き消費が増
加したこと。環境への
影響は、自動車を利用
する機会が減り環境負

荷の軽減。市営交通へ
の影響は地下鉄、市バ
ス利用者が増え市営交
通の経営安定への寄
与、そのほかにも医療
費や介護費用の節減、
高齢者の交通安全性の
向上などあげられまし
た。
調査の結果、経済効
果316億円と算出、
補助金の2・5倍の効
果があったとされまし
た。

敬老パスの効果の 検証を検討

高槻市では、42年間
続けられてきた、敬老
パスの制度が、果たし
ている役割について、
またどんな効果がある
と考えているのかの質
問に、市は、さまざま

まな効果があると考え
ている。効果の検証に
ついては検討するとし
ました。


学童保育と放課後子ども教室と対象児童 役割が違う制度を一緒にすることは問題

現在、国は2019年度末に、学童保育で約30万人分、すべての小学校で「放課後子ども教室」の実施、一体型を1万カ所以上での実施を目標としています。

しかし、学童保育と、放課後子ども教室は、対象児童、その目的も違う制度です。

学童保育の待機児

解消のために充実が必要

学童保育は 子どもの生活場

学童保育は、適切な遊び場、生活の場を提供し、働く保護者の支援に役立つべきです。今議会で、芥川学童保育の待機児解消に3室目の、学童保育室をつくる予算を提案されました。このことは大変評価できることです。それは、学童保育でなければできない、役割があるからです。

対象学年の 拡大を

学童保育の対象学年については、高槻市は

現在3年生までとしています。6年生までの要望も多く、2012年に児童福祉法が改定され、学童保育の対象年齢を「おおむね10歳未満」とした文言はなくなり「小学校に就学している児童」と6年生まで対象になりました。

「放課後子ども教室」の 拡充に市の支援を

全児童を対象にした「放課後子ども教室」は2008年にはじまり、高槻市では、現在13カ所で実施され約620人の子どもが登録しています。

放課後や週末に、学校やコミュニティセンターなどで、安心・安

が、基本的にスタッフは地域のボランティアの方がされています。1カ所の教室に参加する子どもは、多いところで80人です。16人のスタッフで、子どもの安全を確保し、いろんな体験ができるのか、かなり事前の打ち合わせなど負担がかかります。しかも16人の内謝金が出るのは3人

一体型ではなく、 それぞれの充実を

子ども未来財団が行った「学童保育にかかわる実証的調査研究」を公表。研究は学童保育、全児童を対象にした放課後子ども教室とが、一体的運営されている自治体では「利用する子どもが多く、誰がいつ来て帰ったのか把握できない」「指導員が1人一人に声かけできない」などの問題が出ています。一体化

だけです。ボランティアの不足で、現在閉鎖されている教室があります。来年から再開されますが、人が確保できないからと、突然閉鎖されて被害を受けるのは子どもです。教室を安定的に運営できるように、地域任せにしないで市の支援が大事です。

するのではなく、学童保育、放課後子ども教室ともに、充実してそれぞれの役割をしっかりと果たして、子どもの放課後を安全で、豊かなものにするのが求められています。



市会議員

中村れい子

市政相談日は

毎月、第2土曜日です

事前に必ず連絡を
ください



場所：中村れい子事務所
別所中の町3-7

時間：朝10時～昼12時まで
TEL 681-8480 / 自宅 TEL 685-6686